

女性目線のアイデアで、「人とクルマの安全」を守る 株式会社サンケイ工業

はじめに、インターネットで「株式会社サンケイ工業」を検索してみたい。まず画面に現れるのは、ほのぼのとしたタッチで描かれた、仮想ワールド。そこから「お仕事紹介」のボタンをクリックすると、仕事の様子が数枚の写真とともに何やら楽しげに紹介されている。会社案内によくありがちな、懇切丁寧な紹介や大げさなキャッチフレーズは、一切見当たらない。ネット上にいながら、気分はまるで大人の社会科見学でもしているようだ。

遊び心のある視覚的PRで、業界のイメージアップ

このユニークなPRの仕掛人は、同社の田村美津子さん。「ホームページをそういう感覚で見ただけだと嬉しい。最初の導入ページはおもちゃの世界をイメージして、楽しいつくりしてみました」

同社の設立は1989年。以来、高速道路、一般道路、駐車場、ETCレーンの区画線や道路標示、道路標識などの設計・施工、歩道の点字シートの貼付けなど、「人と車の安全」にかかわる仕事に第一線で携わってきた。道路上に果てなく続く中央線や車道境界線、また横断歩道や「止まれ」、「駐車禁止」の文字など、日常、当たり前のように利用し、目にして光景がまさにそうだ。

にもかかわらず、「うちのような仕事は、建設業では末端的な業種と見なされがち。いつかイメージを向上させたいと考えていました」

その思いをひとつのカタチにしたのが先のホームページだ。しかも、ターゲットを大きな仕事を発注してくれる企業ではなく、あえて駐車場や店舗などを持つ「街のオーナーさん」に絞って発信する。「当社の仕事は、一般のオーナーさんには少しわかりづらいと思い、伝える情報量を思い切って減らし、写真を多用して視覚に訴えかけることにしました」。その意図が当たり、現在、週一のペースで問い合わせがくる。そして、ほぼ契約につながっているそうだ。また、田村さんが「気まぐれに綴っている」というブログにも、ファンが多い。

小さな仕事をコツコツと、丁寧に、積み重ねる

あえて「街のオーナーさん」にターゲットを絞ったのはなぜか。その理由は、設立当初にさかのぼる。実は、田村さんも現場作業を手伝いながら、会社を支えてきた一人。「ちょうど子どもが生まれたばかりで、深夜の道路工事の依頼がきたら、その子を作業車に寝かせて仕事していたんですよ」。1989年といえば、バブル経済が弾ける少し前。建設業界のぶら下がり体質は依然と続いており、周囲にはまだゆとりがあった。しかし、田村さんたちに限っては、なぜか朝から晩まで働きづめだったという。「その頃から社長は、『これからは小さな仕事を数多く、丁寧にこなしていかなあかん。黙って信じてついてきて』と言っていました。でも、当時はまったくその意味がわかりませんでした。まだバブルの余韻がありましたし、なんでこんな大変なことをせんとあかんのかなあと。日本経済がいよいよ傾きかけて、ようやく社長の選択は正しかったんだと気づきました」。それから24年間、この経営方針を貫いてきた。そのおかげで、今日まで荒波にもまれることなく、比較的安定した経営を続けてこられたのだという。取引先企業は大手ゼネコンから駐車場オーナーといった個人事業者まで400社を数え、近畿一円に広がる。

「自走式オートライナー」を特許開発

同社のおもな仕事は、各社の依頼に応じて精密な図面をCADで作成し、この図面に基づいて、各現場スタッフが施工機とよばれる機械でライン引きを行う。いわば、人の操作による手作業だ。ちなみに、道路のライン引きといった作業は、交通量が少ない深夜の時間帯に行われることが多く、24時間態勢の仕事。なかでも高速道路などの減速帯といった破線のライン引きは手間や時間がかかるのが課題だったという。そこで同社は、このライン引きが効率的に行える「自走式オートライナー（自動破線装置）」を開発し、2004年に特許を取得。それまであり得なかった作業の効率アップと時間短縮を実現させた。これにより、現場スタッフの作業の軽減はもちろんのこと、通行止めの時間を短縮でき、警備員の人件費などのコスト削減にもつながることから、受注先のゼネコン関係者に高く評価されているという。



また、同社は20代の若いスタッフを中心に、仕事の取り組み方にも定評がある。その理由を尋ねると、「どうしてなのでしょうね。なぜかみんな誠実でまじめなんですよ」



「速度落とせ」の文字を
ライン引きする工程



特許開発した自走式オートライナー
(自動破線装置)

笑顔が社員のモチベーションを上げる

その答えは、田村さん自身にあった。社内は、いつも笑顔の田村さんをはじめ、笑いが絶えないという。その明るさを表すかのように、応接室には、「いつも笑顔と感謝を忘れない」「大金よりも信用第一主義」「人に好かれる明るい性格」「腹を立てるな 怒らない」「打たれ強く前向きな人間」「自まんしない いばらない」「何でも一生けん命 責任感」「いつまでも夢をかたれる情熱人間」「人の悪口は云わない 聞かない」「目くばり気くばり思いやり人間」と書かれた、田村さんお気に入りのユニークな商人訓が置かれていた。

スタッフが着用する作業着は明るく元気が出る色で、作業車は最新のものやカラフルなペイントを施したものに、とこだわっているのも「毎日、大変な現場でスタッフが少しでも楽しく仕事ができるように」とのさりげない心づかいからだ。「スタッフは大切な家族」。その思いに守られ、スタッフは安心して仕事に集中することができる。「今度、ユニフォームをリニューアルするんですけど、背中にド派手な色でサン・ケイの文字を入れようか、って彼らに提案したら、さすがに反対されました(笑)」

そんな社内のムードメーカーでもある田村さんに、今後について聞いたところ、「私たちの仕事は、人と車が気持ちよく共存し、交通事故が起こらないように安全をサポートすること。これからもその思いは変わりません。そして、小さなお子様や高齢者が安心して利用できる歩道づくりや、より安全な自転車レーンの提案などをしていきたいですね。さらに夢ですが、幼稚園や学校の敷地、駐車場をカラフルにライン引きしたり、大型スーパーの駐車場をブロックごとに色分けしたら、迷子になることもなくなるし、より便利になって楽しくなりそうですよね?」。かつて男社会といわれてきたこの業界も、女性のやわらかな目線で何かが変わりつつあるようだ。



同社の敷地内に遊び心で制作した
ミニチュア道路

株式会社サンケイ工業

代表取締役 岸本 忍

〒558-0003
大阪市住吉区長居4-4-23-2F
TEL: 06(6698)9798
FAX: 06(6698)3840
<http://www.sankeikogyo.com/>

【事業概要】道路区画線、道路標示、道路標識、樹脂カラー塗装等の設計・施工
塗装工事業、土木工事業、舗装工事業、とび、土工事業

